

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立あさひワークホーム	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3294	設置年月日 (改築年月日等)	昭和58年5月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県障害者援護協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:17,240㎡ ○建築延面積:1,998.43㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造平屋建ほか ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理居住棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,580.92㎡ ・渡り廊下(鉄骨造平屋建) 50.00㎡ ・作業棟(鉄骨造平屋建) 291.12㎡ ・プロパンボンベ置場(コンクリートブロック造平屋建) 6.10㎡ ・短期入所用居室(鉄骨造等) 70.29㎡ ○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:38人 ・短期入所:5人 ・就労移行支援:8人 ・就労継続支援B型:34人 ・施設入所支援:40人 		
主な業務内容	<p>(1)施設等の維持保全に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 <p>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	生活介護	38	36	36	
	短期入所	4	4	4	
	就労移行支援	4	3	3	
	就労継続支援B型	29	30	30	
	施設入所支援	34	31	31	
	利用者数合計	109	103	103	
	目標値	125	125	125	125
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対平成29年度比		94.8%	94.9%	
利用率	87.2%	82.6%	82.7%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	194,906,942	193,960,000	193,586,495	192,740,000
	指定管理者委託料				
	その他	14,955,335	12,730,000	13,850,518	13,470,000
	収入合計(A)	209,862,277	206,690,000	207,437,013	206,210,000
支出	人件費	126,180,998	13,300,000	132,536,551	134,300,000
	県への納付金				
	管理運営費	90,601,281	73,390,000	72,187,302	71,910,000
	うち外部委託費(B)	13,353,187	16,500,000	15,621,950	16,500,000
	支出合計(C)	216,782,279	103,190,000	204,723,853	222,710,000
収支差額(A-C)		△ 6,920,002		2,713,160	
外部委託比率(B÷C)		6.2%	16.0%	7.6%	7.4%
利用者一人当たりの経費		2,031,580.6	825,520.0	2,006,160.7	1,781,680.0

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年3月 実施方法:入所及び通所利用者へのアンケート 回答数: 56人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	50.0%	34.0%	12.0%	4.0%
個別支援計画	56.0%	28.0%	11.0%	5.0%
日課・作業等	55.0%	30.0%	13.0%	2.0%
食事	40.0%	27.0%	25.0%	8.0%
入浴(着替え支援含む)	58.0%	29.0%	13.0%	
健康管理	64.0%	28.0%	6.0%	2.0%
利用者への接し方	61.0%	31.0%	6.0%	2.0%
外泊対応	74.0%	21.0%	5.0%	
外出対応	52.0%	21.0%	17.0%	10.0%
施設を利用した感想	50.0%	42.0%	8.0%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	<p>【施設設備】 ①食堂、作業棟が狭い。 ②トイレを改修し、便器が増えたが奥のトイレは車いすでは大変なので、歩ける利用者に使ってほしい。</p> <p>【日課・作業等】 ③作業では違う仕事もしてみたい。</p> <p>【食事】 ④食事では歯ごたえのあるものを食べたい。</p> <p>【入浴】 ⑤浴槽のタイルを張り替えたので使用しやすくなった。</p> <p>【外出】 ⑥もっと外出や買い物に行きたい。</p>
利用者の意見への対応	<p>①令和2年度に向けた県営繕工事の継続要望として申請した。</p> <p>②設備の使用については、利用者朝礼時や全体集会等において安全に使いやすく利用できるよう説明し、協力を求めた。</p> <p>③工賃の向上を目指し、営業活動や作業内容の新規開拓に取り組んだ。</p> <p>④毎日の食事について栄養士が利用者から直接感想を聞き取るとともに、年4回開催される給食委員会で利用者代表の意見を傾聴し、献立や味付けに反映させた。</p> <p>⑤浴槽の改修工事を行い、浴室が使用できない期間は隣接するアドバンテージあさひの協力を得て浴室を借用し、清潔保持に努めた。</p> <p>⑥できる限り利用者の要望に沿った日中活動が提供できるよう支援の充実に取り組んだ。しかし、年度末には新型コロナウイルスの感染防止対策として、外出支援を制限することとなった。</p>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の保守管理について、快適な環境を維持し、利用者へのサービスの向上を図った。</p> <p>また老朽化の著しい設備・備品等の更新及び安全基準上の必要な措置として、施設予算の中から利用者女子トイレの改修工事のほか、停電時の非常灯取替工事など、必要な対応を行った。</p>	<p>女子トイレの改修を行うなど、設備・備品の更新を行い、施設の維持・向上に努めている。</p> <p>施設、設備等の老朽化が著しいため、引き続き、利用者の安全や利便性に留意し、適宜、必要な措置を講じること。</p>
運営業務	<p>利用契約の際に、利用者及び家族に対し当該事業の基本方針及び支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画を作成し、支援を行った。</p> <p>施設事業の内容を、全体集会やオリエンテーション等で利用者へ説明を行い、利用者の意向を反映できるよう支援を行った。</p>	<p>個別支援計画を策定し、適切な支援が行われている。引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。</p>
利用状況	<p>各サービス事業の年間利用実績から、生活介護事業・就労継続B型事業については比較的安定的な利用者の確保ができてきている状況にあるが、就労移行支援については利用者が減少傾向にあるため、引き続き関係機関との連携を図り利用者の増加を図っていく。</p>	<p>引き続き、各サービス事業の内容について周知を図り、関係機関と緊密に連携し、利用者の増加に務めること。</p>
収支状況	<p>平成30年度は社会福祉充実計画の実施に伴い、生活活動室の新設及び機能訓練室を短期入所用の居室へと改修工事を行ったため支出が増額したが、令和元年度は収入の確保・経費削減等により収支差額の決算額としては約270万円プラスとなり、1200万円程度予算を上回ることができている。</p>	<p>収入の確保、経費の削減により、適切な経営が行われている。引き続き、施設の安定的な運営を行うため、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに、利用料収入の確保に努力されたい。</p>
自主事業	<p>指定相談支援及び日中一時支援事業について、事業計画書に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>指定相談支援事業では、95名の計画相談を担当し、234件のモニタリングを実施し、平成26年の開所以来、順調に相談利用者数を増やしている。</p>	<p>自主事業申請(事業計画書)に基づき、適正に業務が執行され、利用の拡大が図られている。</p>
利用者満足度	<p>「満足」「どちらかと言えば満足」の回答が多く出ている。今後においても、利用者の視点に立ったサービスの提供に心がけていく。また、少数意見に対しても可能な限り対応するよう努めていく。</p>	<p>概ね、利用者の満足が図られているが、食事に対する不満が増えていることから、利用者の意見も取り入れながら、満足度の向上に努められたい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>高齢化、障害の重度化が進む中で、転倒報告や嚥下機能低下等の問題もあるため、介護機器の導入及び食事時の良肢位確保に心がけ、安心・安全の生活ができるよう支援した。また、ノロウイルス、インフルエンザ等の予防対策に加え、年度の終盤には、国や県の指導に従い、新型コロナウイルス発生による感染拡大防止対策として、利用者・職員の健康チェックの強化、活動内容の変更や面会・外出等の制限を実施した。</p> <p>個別支援計画に基づいた就労支援・生活支援を行うとともに定期的な評価、アセスメントを実施することで利用者ニーズに合った質の高いサービスを提供できた。</p> <p>基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による定期点検を実施した。利用者の快適な施設生活を送れるよう、緊急または簡易な修繕工事を13件施工した。</p> <p>関係機関への働きかけを強化するとともに職員体制を充実させ、利用者確保に努めた。</p> <p>その他、新たに地域における公益的な取組みとして、地域住民の方を対象に施設案内やスポーツ交流会、福祉のお仕事体験のほか、施設が管理する駐車場を9回貸し出した。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。</p> <p>質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営されている。</p> <p>利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>条例、協定等に基づき適正な執行を行い、施設・設備については利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行う。</p> <p>サービス向上に努めるとともに、効率的な施設経営を行い、安定した経営の継続を目指す。</p> <p>利用者満足度調査の結果を踏まえ、利用者個々のニーズに対応するよう努力する。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在

